

幕末の家老 西郷頼母所有

幕末の会津藩家老・西郷頼母(おんぼ)が藩主・松平容保(よぶ)から拝領したとされる脇差が、葛飾区東四つ木の建築会社社長・近藤勝之さん(67)によって大切に保管されている。近藤さんが頼母ゆかりの古武術「大東流合気柔術」の継承者だった縁で4年ほど前に手に入れたもので、近藤さんは、「会津の動乱期を生き抜いた西郷頼母について知ってもらい、福島の人たちを力づけられたら」と一般公開できる場所を探している。(永瀬章人)



保管されている脇差は、刃渡り1尺5寸8分(約48センチ)。会津藩の質実剛健の気風そのままに、刀身の幅が広く、厚みもある豪壮な作りとなっている。鞘には「藩主松平容保公より拝領 愛刀蟠龍丸」と書き添えられている。西郷頼母について多くの人に知ってもらいたい」と話す近藤さん

葛飾の武道家「公開できる場所を」



西郷頼母 1830年〜1903年。江戸末期の会津藩家老として、藩主・松平容保に仕えた。だが、容保の京都守護職就任に反対したほか、戊辰戦争では官軍への恭順を主張、城を追われた。混乱の中、母や妻など一族21人が自刃した悲劇でも知られる。城を捨て、明治時代まで生き残った家老として、これまで必ずしも評価が高くなかったが、NHK大河ドラマ「八重の桜」に登場するなど、知名度と共に再評価の機運が高まっている。

会津の刀で「福島に力を」



領 愛刀蟠龍丸「文久二年正月吉日 西郷頼母」と書き添えられ、花押も書かれている。文久2年(1862年)は、松平容保が京都守護職に就任した年にあたる。明治時代は、保科近衛と名を変え、福島県の霊山神社などで神職を務めた頼母。その際、会津藩に古くから伝わる殿中作法や護身武芸の「御式内」を同藩出身の武術家・武田惣角(1859〜1943)に伝え、その後の大東流の発展に貢献した。

近藤さんは、12歳から大東流を学び、1988年に免許皆伝。94年9月に本部長となり大東流を継承し、葛飾区に創設した道場で後進の育成に努めてきた。

脇差は、2009年5月頃、近藤さんが大東流の継承者だということを知った前の所有者から、刀剣商を通じて「引き取ってほしい」と依頼があった。近藤さんは、筆書きされた筆跡を見て、その場で購入を決め、頼母の研究者に見てもらったところ、頼母の筆跡だと確認できたという。

その後、東日本大震災が発生。「幕末維新の動乱期を乗り越えた頼母の脇差は、被災者のみなさんも力づけられるのでは。このまま死蔵しては申し訳ない」と一般公開を思い立った。

守りの民主 攻勢の自民

都議選6月23日投票 水面下の戦い始まる

任期満了に伴う都議選(定数127)の日程が23日、6月14日告示、23日投票で決まった。7月21日の投票が有力視される参院選の「前哨戦」としても位置づけられ、勢力死守を目指す最大派の民主、政権奪還の勢いを駆る自民、公明など、主要各党は様々な思惑を抱えながら、水面下の戦いをスタートさせている。

知事選と同時に進められた昨年12月の都議補選で、3議席を独占した自民(同40議席)も既に42人の公認を発表。今週末にも、追加の公認決定を予定している。自民とともに与党を形成する公明(同23議席)は、候補者を増やさず、現職全員を確実に当選させる戦略を描く。

では、共産(同8議席)が25人、生活者ネットワーク・みらい(同3議席)も5人の公認を発表している。ここに割って入ろうとするのが、日本維新の会やみんなの党だ。維新は現職2人を公認済みだが、幹部は「最終的には60人以上の擁立が目標」と言い切る。みんなの党も現時点の公認済みは3人だが、近日中に数人を追加する見通し。両党ともに、今後は公募による候補者選抜に力を入れる方針だ。

その他の都議会内勢力



昨日のイベントで妻への愛の言葉を叫ぶ男性(日比谷公園提供) 1月31日は愛妻の日

妻への気持ち 大声で叫ぼう

日頃、口に出さない愛妻への素直な気持ちを大声で叫ぶイベント「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ」が29日、千代田区の日比谷公園で開かれる。

マンションから2遺体

23日午前11時頃、北区滝野川のマンション1階の一室で、高齢の男女2人が亡くなっているのを滝野川署員が見つけた。この部屋に住む70歳の夫婦とみられ、同署で身元の特定を進めるとともに、詳しい死因を調べている。

同署幹部によると、男性は寝室のベッドに横たわり、女性は廊下に倒れていた。いずれも目立った外傷はなく、死後数日から数週間経過しているとみられる。玄関の窓は施錠され、物色の形跡はなかった。

都民版

都内版編集室 中央区銀座 6の17の1 読売新聞東京本社内 〒104-8243 電話(3217)1465 1466 FAX(3217)1468 tomin@yomiuri.com 都民版広告 (5226)9925 購読申し込み フリーダイヤル 0120-4343-81

読売グループ・総合広告会社 株式会社読売エージェンシー 広告のお申し込みは 03(5226)9925 www.yomiuri-ag.co.jp

目録値 1厚労省 (ケンケン)

■墨田区伝統工芸保存会作品展 24〜29日、東京スカイツリータウン・ソラマチ5階(押上1)の産業観光プラザ「すみだまち処」で。同会創立35周年を記念し、押絵羽子板や江戸小紋、江戸切子などの墨田区の伝統工芸文化を楽しむ作品を展示するほか、市松人形やべっ甲工芸など4人の職人の実演が行われる。午前10時〜午後6時。問い合わせは区産業経済課(03・5608・6186)へ。

■子供未来とうきょうメッセ 26日、千代田区の東京国際フォーラムで。子育て支援環境の向上が目的で、企業、NPOなどで行われる「子育て応援とうきょう会議」の主催。約60団体が活動の様子を紹介する。教育評論家の尾木直樹さんの基調講演や親子で楽しめる遊具体験コーナーも。午前10時〜午後4時。入場無料。問い合わせは都少子社会対策部計画課(03・5320・4115)。